

2013. 4. 5

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2012年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2012 年年間回顧)

2012 年のわが国の景気は、震災復興需要やエコカー補助金効果などで前半は回復基調を辿ったものの、後半は円高が長期化する中、欧州の景気悪化および中国・新興国の景気減速による外需の後退が顕在化し、景況感が悪化した。

化繊景況は、衣料用途が高密度織物やユニフォームの不振などで盛り上がりには欠け、自動車関連用途はエコカー補助金廃止の前後で、大きな差異が見られた。このような中、化繊生産は前年比 4.1%減の 98.0 万トンをであった。

国 内

- 1) 衣料用は、ダウンジャケットやユニフォーム・ワーキング用などで在庫調整が続く苦戦、不振が続く婦人向けは、ファッション一辺倒から「クールビズ/ウォームビズ」の浸透で機能性が求められた。保温肌着は、ここ数年ブームが続く飽和感が出ていたが、11月の冷え込み以降店頭販売が堅調に推移、クールビズ関連は期待が大きかったものの、立ち上がり時期の6月の気温が低めだったこともあり、店頭販売は計画を下回った。インテリア用は、カーテン、カーペット向けが、新規住宅着工件数が堅調だったものの、製品輸入が中心となり恩恵を受けなかった。産業資材用は、タイヤコードがアジア地域のタイヤの需給バランス悪化が波及して苦戦した。カーシートは、前半はエコカー補助金効果により堅調であったが、後半は補助金終了で失速した。エアバッグは、装着部位の拡大を背景に好調が続いた。震災復興関連では、帆布用などの需要が収束したが、漁網用や除染処理用のフレコン向けが堅調であった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比 3.1%減、化繊 4.9%減。紡績 5.9%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が前年比 2.6%増、化繊 3.9%減、紡績 12.3%増となった。（生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 98.9 億ドル・前年比（以下同じ）2.9%減、また円ベースでも 7,897 億円・2.7%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料・2.5%減、糸類・0.7%減、織物類・3.5%減、二次製品他・3.4%減。仕向地別（ドルベース）では、全体の 36.9%を占める中国が 6.8%減の 36.5 億ドル、香港（9.4%減）、韓国（7.7%減）、台湾（4.9%減）、アセアン地域は、ベトナム（9.0%増）、タイ（6.2%増）・インドネシア（4.7%増）・マレーシア（2.7%減）となり、それ以外では米州（4.6%増）、西アジア（14.6%増）、欧州（10.9%減）であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで 432.7 億ドル、前年比 1.3%増、また円ベースは 3兆4,506 億円・1.6%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料は 7.0 億ドル・21.4%減、糸類 14.0

億^{ドル}・14.5%減、織物 14.9 億^{ドル}・8.1%減、二次製品他 396.8 億^{ドル}・2.9%増。仕出地別では、全体の 72.4%を占める中国が 0.5%減の 313.1 億^{ドル}、韓国 (7.2%減)、台湾 (5.2%減)、アセアン地域は、ベトナム (16.9%増)、インドネシア (16.5%増)、タイ (0.9%減)、マレーシア (8.9%増)、それ以外では、イタリア (4.3%増)、米国 (8.5%減) となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2010年	2011年	2012年	10年比(%)	11年比(%)
輸出	千 ^{ドル}	8,942,459	10,185,659	9,886,638	10.6	-2.9
計	百万円	782,771	811,765	789,651	0.9	-2.7
繊維原料	千 ^{ドル}	1,444,243	1,681,178	1,639,634	13.5	-2.5
糸類	〃	1,149,995	1,340,543	1,330,937	15.7	-0.7
織物類	〃	2,878,073	3,336,329	3,218,075	11.8	-3.5
二次製品他	〃	3,470,148	3,827,609	3,697,992	6.6	-3.4
輸入	千 ^{ドル}	34,394,587	42,699,407	43,274,212	25.8	1.3
計	百万円	3,002,146	3,395,972	3,450,595	14.9	1.6
繊維原料	千 ^{ドル}	576,087	889,373	699,137	21.4	-21.4
糸類	〃	1,129,746	1,642,539	1,404,898	24.4	-14.5
織物類	〃	1,188,992	1,619,835	1,488,333	25.2	-8.1
二次製品他	〃	31,499,762	38,547,660	39,681,844	26.0	2.9
(うち衣類)	〃	(26,688,301)	(32,680,363)	(33,622,637)	26.0	2.9
輸出レート	円/ ^{ドル}	77.9	80.1	79.9	2.5	-0.3
輸入レート	円/ ^{ドル}	77.7	80.3	79.7	2.6	-0.6
(出所) 財務省						

5) 化繊生産は 98 万 218 トン・前年比 4.1%減と 2 年ぶりの 100 万トン割れ、うちセルロース繊維は 16 万 8,735 トン・0.5%増、合繊 81 万 1,483 トン・5.0%減となった。期末在庫は 9 万 3,394 トン・4.2%減、うちセルロース繊維が 1 万 4,228 トン・2.5%減、合繊 7 万 9,166 トン・4.5%減であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は 62.9 万トン・前年比 3.6%減。うち、繊維原料は 31.1 万トン・4.3%減、糸類 11.5 万トン・4.2%減、織物類(面積ベース) 6.34 億^{m²}・4.2%減、二次製品 9.8 万トン・3.7%増となった。品種別では、レーヨン S は 22.4%減、ナイロン F 30.1%増、ポリエステル F 13.6%減、ポリエステル S 12.1%減、アクリル S 4.0%減、織物類(面積ベース)はナイロン F 織物 6.2%減、ポリエステル F 織物 6.3%減、ポリエステル S 織物 1.0%減であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は 143.6 万トン・前年比 0.7%減。繊維原料は 5.2 万トン・15.8%減、糸類 19.7 万トン・5.4%減、織物類(面積ベース)は 6.31 億^{m²}・7.8%減、二次製品 108.2 万トン・1.3%増、うち衣類 58.4 万トン・0.9%増となった。品種別で

は、レーヨンSは21.6%減、ナイロンFは7.2%減、ポリエステルF3.9%減、ポリエステルS15.8%減、ポリエステル紡績糸15.5%減、織物類（面積ベース）はポリエステルF織物14.1%減、ポリエステルS織物4.5%減であった。

化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2010年	2011年	2012年	10年比 (%)	11年比 (%)
化繊生産	千トン	998.0	1,022.3	980.2	-1.8	-4.1
セルロース	〃	168.7	167.9	168.7	0.0	0.5
合 織	〃	829.4	854.4	811.5	-2.2	-5.0
化繊在庫	〃	91.3	97.4	93.4	2.3	-4.2
セルロース	〃	15.1	14.6	14.2	-5.8	-2.5
合 織	〃	76.2	82.9	79.2	3.9	-4.5
化繊輸出	千トン	629.1	652.4	629.1	0.0	-3.6
	100万ドル	5,536.7	6,365.5	6,233.9	12.6	-2.1
	億円	4,846.9	5,072.4	4,979.6	2.7	-1.8
繊維原料	千トン	320.0	325.3	311.4	-2.7	-4.3
糸 類	〃	111.6	120.3	115.2	3.2	-4.2
織物類	百万㎡	628.0	661.7	633.8	0.9	-4.2
二次製品	千トン	91.9	94.4	97.9	6.5	3.7
化繊輸入	千トン	1,259.1	1,446.7	1,435.9	14.0	-0.7
	100万ドル	14,850.5	19,625.5	20,346.2	37.0	3.7
	億円	12,889.1	15,553.1	16,221.6	25.9	4.3
繊維原料	千トン	57.0	61.7	51.9	-8.8	-15.8
糸 類	〃	187.3	208.5	197.2	5.3	-5.4
織物類	百万㎡	532.2	684.9	631.3	18.6	-7.8
二次製品他	千トン	922.8	1,067.3	1,081.6	17.2	1.3
(うち衣類)	〃	(486.0)	(579.3)	(584.3)	20.2	0.9

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

フィラメントの生産は16万7,036トン・前年比7.6%の減、12月末在庫は1万5,143トン・前年同月末比11.7%の減となった。

衣料用：婦人服は「ウォームビズ/クールビズ」の浸透により、従来からのファッショントレンドに加えて機能性が求められた。裏地はクールビズの浸透や世界的なタフタ系織機の増設で低調。高密度織物は、ダウンジャケットが2011年シーズンの作り過ぎによる在庫増で苦戦し、また、これまで「軽く・薄く」を追求してきたが、その反動が出てトレンドに変化が生じた。アウトドアの海外向けは、汎用ゾーンで日本品から韓国品などへの代替が進み苦戦した。コンプレッションウェアは、需要一巡で踊

り場を迎えた。クールビズ関係は期待が大きかったが、立ち上がりの6月の気温が低めだったこともあり、店頭販売は計画を下回った。

産資/インテリア用：自動車関連は、タイヤコード織物がアジア地域でのタイヤの生産過多および中国から欧州へのタイヤ輸出の不振による需給バランス悪化を受けて苦戦。カーシートは年前半エコカー補助金効果を背景に堅調であったが、後半は補助金終了により失速した。震災復興関連では、漁網が「定置網」向けの需要増が続き、また除染処理用フレコン向けが活発化したが、漁網は製網メーカーのキャパ不足、フレコンは貯蔵施設の決定遅れが課題となった。カーテンは、住宅着工件数が堅調に推移したが、輸入製品が中心のため恩恵を受けなかった。

フィラメント輸出：、2万4,168トﾝ・前年比13.6%減、米国5,175トﾝ（55.9%増）、中国4,018トﾝ（19.9%減）、香港2,889トﾝ（17.4%増）、タイ2,367トﾝ（58.1%減）。

フィラメント輸入：11万3,116トﾝ・前年比3.9%減、台湾5万5,005トﾝ（1.2%減）、インドネシア1万4,837トﾝ（3.1%減）、韓国1万3,278トﾝ（5.7%増）、タイ1万3,190トﾝ（21.4%減）。

織物輸出：2億5,719万㎡・前年比6.3%減、主な仕向地は中国が1億1,873万㎡（9.8%減）で全体の46.2%を占めた。織物輸入：1億8,782万㎡・14.1%減。

<ポリエステルS>

ステープルの生産は15万1,513トﾝ・前年比3.5%の減、12月末在庫は、前年同月末比4.2%減となった。

紡績用：純糸は復興需要で帆布・重布向けの需要増が続いたが年度末（12年3月）で終了、インテリア向けもフィラメント化が進み不振。綿混糸はワーキング・ユニフォーム分野で生地・製品在庫が積み上がり年間を通じて低迷した。

製綿用（寝具用）：安価な輸入製品の定着や、輸入原綿の使用比率上昇などで国産原綿の投入量は減少の一途を辿った。低調だった寝具販売は11月後半の寒波襲来でやや店頭販売が回復、それに伴う追加生産から製綿業者の稼働は若干改善された模様。

不織布用：衛材向けは、9月に高吸水性樹脂（SAP）メーカーの火災事故で外資系衛材メーカーが大きな影響を受けたため、日系衛材メーカーがシェアを伸ばし、ステープルの需要は順調に推移。生活資材向けは、ウェットティッシュ用が震災特需の反動や輸入製品・原反の増加で落ち込んだ。車両資材向けは、エコカー補助金が終了した9月以降急速に悪化した。産業資材向けは、一般フィルター用などが安定し、堅調に推移。湿式不織布は、順調に推移したが、秋口に若干在庫調整場面を迎え、海外品との競合もあって若干不安定な動きとなった。

原綿輸出：3万4,414トﾝ（前年比12.1%減）、欧州向け8,038トﾝ（同8.1%減）、中国7,351トﾝ（同4.8%増）、インドネシア5,751トﾝ（同8.8%増）、米国5,431トﾝ（同15.0%増）、タイ4,025トﾝ（同63.0%減）。

原綿輸入：2万6,339トﾝ（前年比15.8%減）、中国8,756トﾝ（同14.5%減）、韓国8,037トﾝ（同1.0%増）、インドネシア3,081トﾝ（同24.6%増）、マレーシア2,119トﾝ（同37.8%

増)、台湾 2,105 トン (同 7.5%減)、タイ 1,976 トン (同 70.2%減)。

<ナイロンF>

フィラメントの生産は 9 万 8,130 トン・前年比 (以下同じ) 3.3%の増、12 月末在庫は 10 万 238 トン・前年同月末比 13.7%の増となった。

衣料用：レグ関連は、プレーンパンストが大手レグメーカーの積極的な販促もあって堅調に推移し、レギンス・トレンカは実需用ベーシック品として定着。カラータイツは、11 月の冷え込みで店頭が動意づき追加オーダーが入り、プリントもの (タトゥー柄など) に人気。アウターは、ハイテンションニットの国内向けでベーシックな実用品が順調であったが、中国向け輸出は長引く円高や同国の景気減速で盛り上がりには欠けた。ナイロン使いのダウンジャケットが、2011 年シーズン向けに「作り過ぎ」ことによる在庫増で苦戦、輸出比率の高いアウトドアは主力の欧州向けでコーディネートした高級品が低調であった。

産資/インテリア用：タイヤコード向けは、年前半は堅調に推移したが、後半はタイヤの需給バランス悪化が顕在化し、主力のラジアルタイヤ向けのキャッププライ用が落ち込んだ。エアバッグ：エアバッグ用原糸輸出が急増、エアバッグを装着する国が増加、車種が増加、装着部位が拡大したことが好調の理由。タイルカーペットは震災の影響で遅れていた一般建築ビルの竣工が相次いだことで堅調。ホーサー (船舶係留用ロープ) 向けは、リーマンショック前に受注した新造船の竣工が一巡したため、大幅減となった。

フィラメント輸出：3 万 1,525 トン・前年比・30.1%増、タイ 1 万 3,369 トン (68.6%増)、フィリピン 4,417 トン (17.4%減)、中国 4,071 トン (19.9%増)。

フィラメント輸入：2 万 5,555 トン・前年比・7.2%減、台湾 6,108 トン (2.8%減)、米国 4,006 トン (8.1%増)、韓国 3,631 トン (14.8%増)、カナダ 3,617 トン (11.7%減)。

織物輸出：1 億 1,362 万 m²・前年比 (以下同じ) 6.2%の減、主な仕向地は中国が 6,332 万 m² (2.1%減) で全体の 55.7%を占めた。

<アクリルS>

ステーブルの生産は 13 万 9,852 トン・前年比 7.8%減、12 月末在庫は 1 万 895 トン・前年同月末比 3.1%の増。

衣料用：これまでブームが続いたことで消費者の間で飽和感が台頭したが、「11 月の冷え込み」以降、店頭の販売状況は好調に推移し、大手SPAの東アジア地域での販売状況も好調と伝えられた。ステーブルの出荷は、海外紡績・縫製スペースの確保のため 2012 年シーズン向けのステーブルの出荷が例年に比べ前倒しで始まった。セーターは、重ね着/薄地化が進む中、セーターそのものの企画が減少しているため、存在感の低下が著しい。フリース、マフラー、ルームウェア、レグフオーマーなどグッズ類への出荷が増加した。

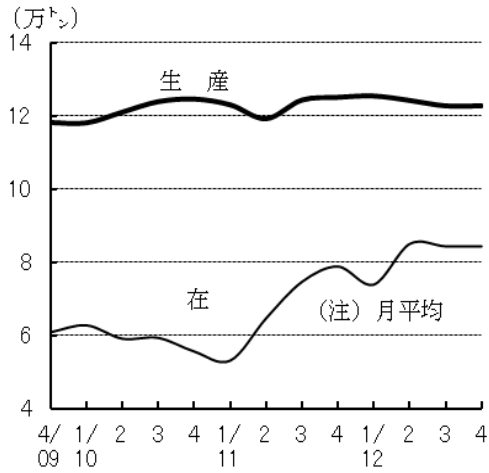
建寝装用：毛布が品質の向上したポリエステル長繊維使いの中国品が店頭を席卷し、

カーペットもフィラメント化が進む中、アクリルはファー調のものや抗菌機能を付与したマットに限定されてきた。

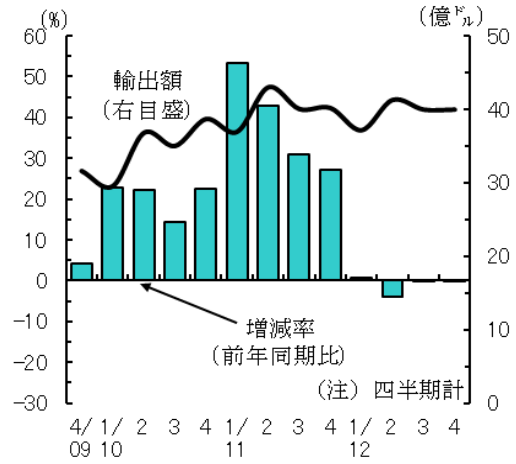
ステーブル輸出：中国は7万5,920万トシ・前年比5.6%減、年初は堅調にスタートしたものの、フェイクファー向けを中心とした再輸出用が例年最盛期を迎える4～8月に主力の欧州向けが不振だったため落ち込んだ。但し、9月以降は中国内需向けが活発化し、回復に向かった。インドネシアは1万2,080トシ・17.7%減、内需が乏しいこともあり、紡績糸の供給基地として期待されているが、中国・新興国の景気減速と欧州の債務危機が波及して苦戦。インドは3,864トシ・26.5%増、手芸糸用に安定した需要があるが、数量的に限定されている。イランは760トシ、2006年～08年には年間2～3万トシの輸出実績があり、中国に次ぐ仕向地であったが、経済制裁強化により4～9月の間「ゼロ」が続いた。

7) 韓国

化合繊生産・在庫の推移



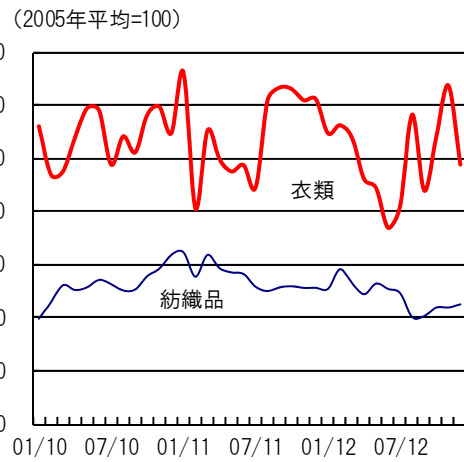
繊維品輸出額の推移



相手別繊維製品輸出 (1~12月)

		輸出額 (100万ドル)	前年比 (%)
紡織品	世界計	11,970	-3.2
	中国	2,207	-8.5
	ベトナム	1,760	5.6
	インドネシア	1,173	-2.0
	米国	944	6.0
衣類	世界計	1,912	3.9
	日本	423	8.5
	中国	364	-5.9
	米国	284	-6.9
	ベトナム	423	8.5

繊維産業の生産指数推移



・概況

2012年の韓国の繊維景況は、世界的な景気不安により生産、輸出とも前年実績割れとなった。

・合繊生産

合繊生産は前年比0.2%減の147.2万トン、微減ではあるが、4年ぶりに前年実績を下回った。主要合繊の生産をみると、ナイロンFは2.4%減の13.2万トン、ポリエステルFは0.3%増の76.3万トン、ポリエステルSは0.3%減の53.0万トン、アクリルSは1.0%減の4.7万トンとなった。年末在庫は前年比12.3%増の8.3万トンと大幅に増加した。

主要合繊の生産高

(1000トン、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
ナイロンF	131	132	135	135	132	-2.4
ポリエステルF	680	671	747	761	763	0.3
ポリエステルS	477	501	532	532	530	-0.3
アクリルS	43	41	49	47	47	-1.0
合繊合計	1,330	1,346	1,463	1,475	1,472	-0.2

・合繊生産能力

合繊の2012年末設備能力は日産4,779トンとなり、前年比108トン増、前年に続き増加した。ナイロンFおよびポリエステルFでそれぞれ49トン、112トン増加、ポリエステルSで53トン減少した。

稼働率は合繊平均で84.4%と前年より約2ポイント下落した。品種別にみると、ポリエステルはF、Sとも90%近い高い水準となった。一方、ナイロンFは61%の低水準であった。

主要合繊の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2008	2009	2010	2011	2012	増減
ナイロンF	600	591	536	546	595	49
ポリエステルF	2,446	2,262	2,250	2,275	2,387	112
ポリエステルS	1,690	1,690	1,690	1,690	1,637	-53
アクリルS	160	160	160	160	160	0
合繊合計	4,896	4,703	4,636	4,671	4,779	108

主要合繊の稼働率

(%)

	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	合繊計
2011.1~12	67.8	92.1	86.2	80.6	86.5
2012.1~12	60.7	87.6	88.7	79.8	84.4

・輸 出

繊維品輸出は前年比 2.2%減の 156.0 億ドル、3 年ぶりに前年実績を下回った。段階別にみると、繊維原料は 1.1%減の 17.5 億ドル、糸類は 2.2%減の 17.5 億ドル、織物類は 4.5%減の 36.1 億ドル、衣類等二次製品は 1.6%減の 82.7 億ドルといずれの段階も減少した。

仕向地別にみると、繊維品は、主力の中国向けが 8.5%減と不振であったが、ベトナム向けが 5.6%増と引続き好調、米国向けは 3 月に発効した FTA の効果もあり 6.0%増と前年実績を上回った。一方、衣類は日本向けは増加したが、中国向け、米国向けは減少した。

繊維品輸出実績

(100 万ドル、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	1,269	1,049	1,362	1,770	1,751	-1.1
糸類	1,343	1,168	1,574	1,786	1,746	-2.2
織物類	3,210	2,692	3,215	3,779	3,608	-4.5
衣類等	7,290	6,503	7,583	8,404	8,268	-1.6
繊維品合計	13,335	11,579	13,912	15,961	15,604	-2.2

・輸 入

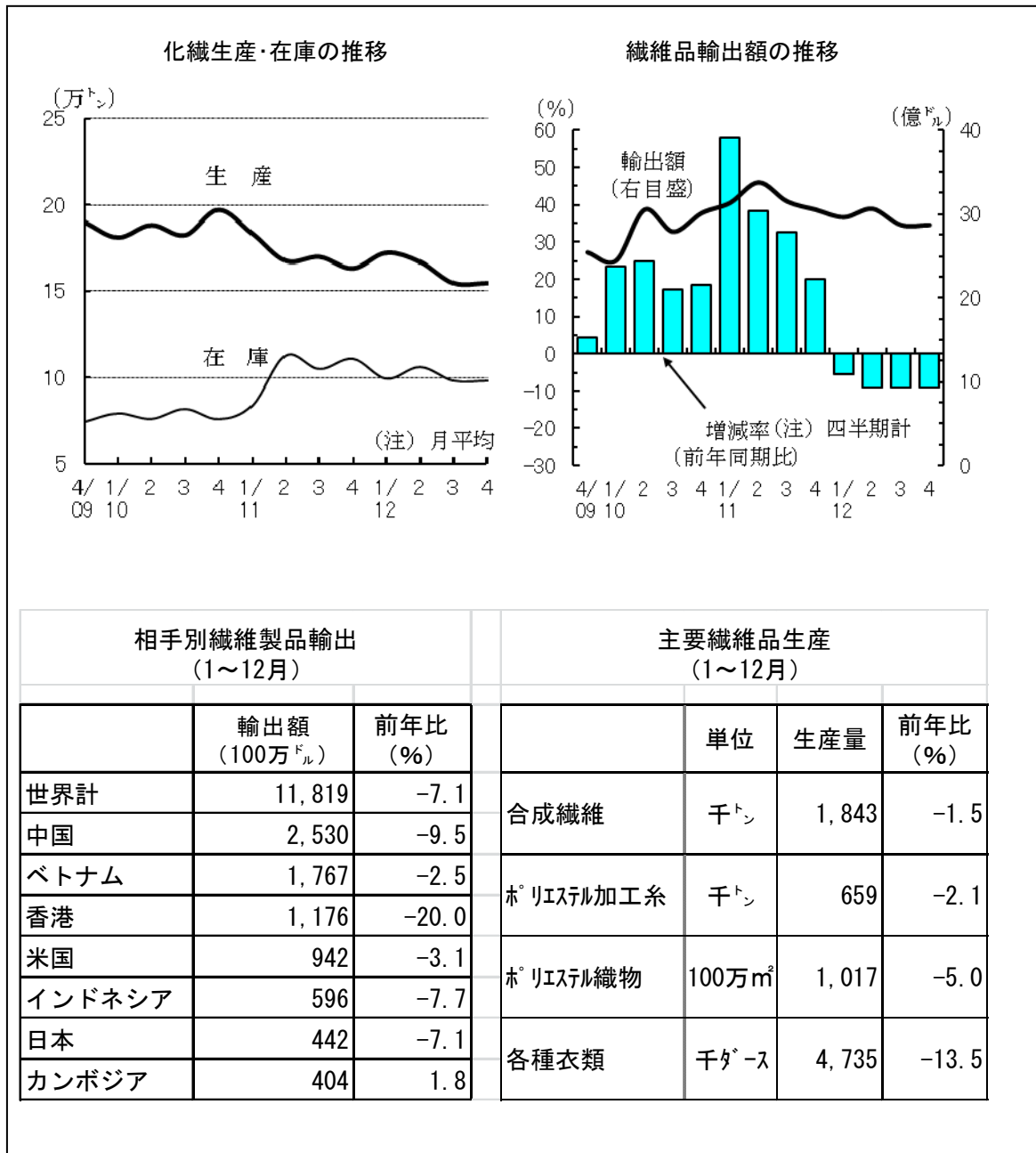
繊維品輸入は前年比 6.8%減の 123.2 億ドルとなった。前年急騰した綿花価格が落ち着いたことで、繊維原料、糸類の輸入は大幅減となった。段階別にみると、繊維原料は 18.5%減の 12.6 億ドル、糸類は 23.9%減の 19.4 億ドル、織物類は 11.8%減の 12.2 億ドル、衣類等二次製品は 2.5%増の 73.8 億ドルとなった。仕出し地別にみると、最大の中国からの輸入が 12.0%減の 57.1 億ドルとなり、そのシェアは 46%と前年より 3 ポイント下落した。続いて、第 2 位、3 位のベトナム、インドネシアは 15.8%増の 16.4 億ドル、3.5%増の 6.4 億ドルとなった。第 4 位の米国は綿花価格の下落の影響で 35.8%減の 5.2 億ドルとなった。

繊維品輸入実績

(100 万ドル、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	808	720	948	1,542	1,258	-18.5
糸類	1,697	1,502	2,228	2,555	1,943	-23.9
織物類	1,118	889	1,165	1,382	1,220	-11.8
衣類等	5,115	4,166	5,355	7,201	7,378	2.5
繊維品合計	9,085	7,591	10,155	13,226	12,320	-6.8

8) 台湾



・概況

2012年の台湾の繊維生産、輸出とも不振であった。繊維生産は前年に続き各段階とも減産、輸出は2年ぶりの前年実績割れとなった。

・化繊生産

化合繊生産は前年比0.5%減の196.3万トンと前年に続き前年実績を下回った。主要品種別にみると、ナイロンFは堅調な輸出もあり、3.3%増の31.9万トン、ポリエステルF

は10.7%減の92.2万トン、ポリエステルSは3.5%増の55.5万トン、アクリルSは28.0%減の6.8万トンの大幅減となった。

主要化繊の生産高

(1000トン、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
ナイロンF	302	287	358	309	319	3.3
ポリエステルF	1,012	1,010	1,111	1,032	922	-10.7
ポリエステルS	476	540	578	536	555	3.5
アクリルS	84	111	102	94	68	-28.0
化繊合計	1,979	2,055	2,248	1,972	1,963	-0.5

・設 備

2012年末の主要化繊の設備は前年末の水準と比べ1,151トンと13%もの大幅減となった。ナイロンFは397トン、ポリエステルFは855トン、アクリルSは60トン減少したが、ポリエステルSは144トン増加した。

稼働率は、設備の大幅な減少から上昇した。化繊全体の稼働率は前年より約9ポイント上昇し70.1%となった。ナイロンF、ポリエステルFは前年に比べ稼働率は改善した。

主要化繊の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2008	2009	2010	2011	2012	増減
ナイロンF	1,745	1,745	1,745	1,745	1,348	-397
ポリエステルF	4,360	4,360	4,360	4,360	3,505	-855
ポリエステルS	1,888	1,888	1,888	1,888	2,032	144
アクリルS	360	360	360	360	300	-60
化繊合計	8,826	8,826	8,826	8,826	7,675	-1,151

主要化繊の稼働率

(%)

	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	化繊合計
2011.1～12	48.5	64.8	77.8	71.6	61.2
2012.1～12	64.9	72.0	74.8	61.8	70.1

・輸 出

繊維品輸出は前年比7.1%減の115.7億ドルと3年ぶりに前年実績を下回った。段階別にみると、繊維原料は10.8%減の11.9億ドル、糸類は11.7%減の22.4億ドル、織物類は5.2%減の72.4億ドル、衣類等二次製品は4.8%減の11.6億ドルといずれも減少した。なお、化繊輸出（数量ベース）は前年比2.3%減の111.7万トンと減少した。ベトナム向

けが 0.1%増の 22.6 万トンとなる一方、中国向けが 12.8%減の 19.8 万トンとなり、初めてベトナム向けが最大となった。

繊維品輸出を主要仕向地別に見ると、第 1 位の中国は 9.5%減の 25.3 億ドル、第 2 位のベトナムは 2.5%増の 17.7 億ドル、第 3 位の香港は 20.0%減の 11.8 億ドル、第 4 位の米国は 3.1%減の 9.4 億ドルといずれも不振であった。

繊維品輸出実績

(100 万ドル、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	968	952	1,170	1,330	1,186	-10.8
糸類	1,970	1,793	2,246	2,533	2,237	-11.7
織物類	6,625	5,536	6,722	7,638	7,240	-5.2
衣類等	1,340	1,064	1,163	1,215	1,157	-4.8
繊維品計	10,903	9,345	11,301	12,716	11,819	-7.1

・輸 入

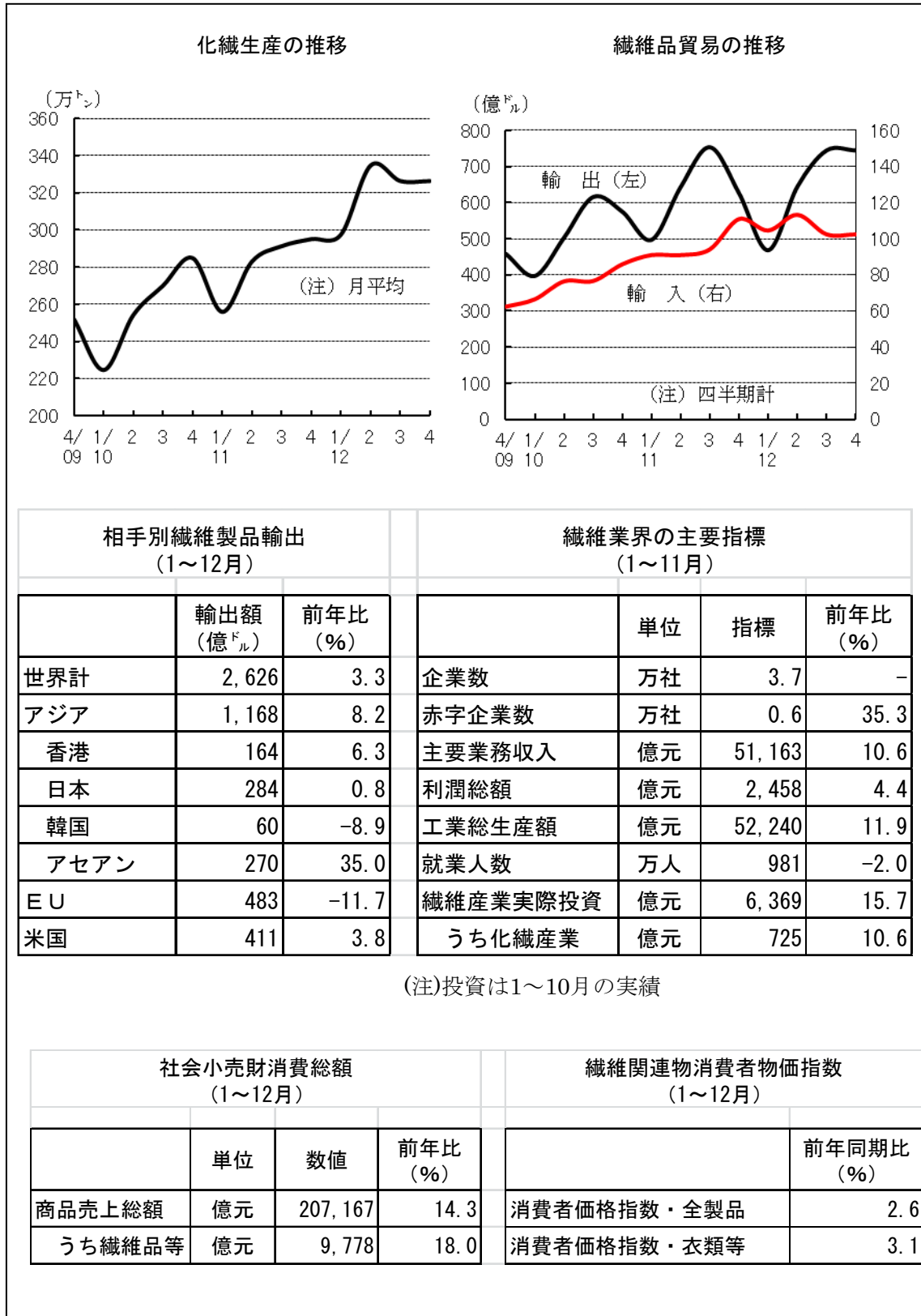
繊維品輸入は前年比 7.0%減の 33.2 億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は 23.6%減の 6.4 億ドル、糸類は 19.4%減の 4.1 億ドル、織物類は 9.7%減の 4.9 億ドルと減少したが、衣類等二次製品は 5.9%増の 17.8 億ドルとなった。

繊維品輸入実績

(100 万ドル、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	531	416	626	839	641	-23.6
糸類	397	277	458	506	408	-19.4
織物類	484	375	476	542	489	-9.7
衣類等	1,289	1,121	1,343	1,682	1,782	5.9
繊維品計	2,702	2,190	2,904	3,569	3,320	-7.0

9) 中国



・概 況

2012年は、繊維生産、繊維輸出とも引続き増加したが、特に海外需要の不振から輸出の伸びは大幅に鈍化した。繊維業界への投資は引き続き好調に推移する一方、内需の伸びも鈍化がみられ、一部の品目では供給過剰がみられ、繊維企業の利益も減少した。2012年1～11月の主要繊維企業の主要業務収入は前年比10.6%増と2ケタ増が続いたが、利潤総額は4.4%の伸びにとどまった。社会小売総額のうちの繊維品の伸びは18.0%増と前年より鈍化したが高伸びとなった。

・生産動向

繊維生産は増加が続いた。化合繊は前年比11.2%増の3,792万トンとなった。世界の化合繊生産に占める中国のシェアは前年より3ポイント上昇、69%に達した。紡績糸は14.7%増の3,002万トン、短繊維織物は11.6%増の660億m、衣類は6.2%増の267億点となった。

主要繊維品の生産動向

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比(%)
化合繊 (1000 トン)	23,848	26,739	29,528	34,102	37,922	11.2
合繊 (1000 トン)	21,752	24,569	27,273	31,473	34,441	9.4
紡績糸 (1000 トン)	21,343	23,895	25,752	26,181	30,022	14.7
短繊維織物 (億 m)	539	549	555	591	660	11.6
化繊織物 (億 m)	144	148	131	154	166	8.3
衣 類 (億点)	222	240	235	252	267	6.2

化合繊生産を品種別にみると、レーヨンは32.4%増の348万トンと大幅増が続いている。主力のポリエステルは9.5%増の3,057万トン、初めて3千万トンを突破した。ポリエステルにおける世界のシェアは、Fが78%、Sが65%に達している。ナイロンは15.0%増の182万トン、アクリルは1.9%減の69万トンとなった。一方、ポリウレタンは16.3%増の31万トンとなった。

化学繊維の品種別生産動向

(1000 トン、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
レーヨン	1,323	1,696	2,263	2,628	3,480	32.4
ナイロン	1,120	1,441	1,452	1,578	1,815	15.0
ポリエステル	19,249	21,542	24,257	27,928	30,570	9.5
アクリル	554	692	671	707	694	-1.9
ポリプロピレン	260	280	297	305	369	21.0
ポリウレタン	168	223	267	264	308	16.3
化合繊合計	23,848	26,739	29,528	34,102	37,922	11.2

・輸 出

繊維品輸出は前年比 2.5%増の 2,583 億^{ドル}と 3 年連続の増加となった。段階別にみると、繊維原料は、14.7%減の 32.2 億^{ドル}と減少したが、紡織品は 1.1%増の 954.6 億^{ドル}、衣類等二次製品は 3.8%増の 1,596.2 億^{ドル}と増加を維持した。仕向地別では、アセアン向けが FTA の効果もあって 35.0%増と引続き大幅増となった。その一方で、欧州向けが景気不安もあり 11.7%の 2 桁減となった。日本向けは 0.8%増とほぼ横ばい、米国向けは 3.8%増と堅調に推移した。

繊維品輸出実績

(100 万^{ドル}、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	2,037	1,544	2,369	3,775	3,220	-14.7
紡織品	65,240	59,824	76,889	94,420	95,459	1.1
衣類	119,968	107,264	129,773	153,781	159,619	3.8
繊維品計	187,244	168,681	209,124	251,976	258,298	2.5

・輸 入

繊維品輸入は前年比 8.4%増の 419.8 億^{ドル}となった。段階別にみると、繊維原料は 11.8%増の 176.5 億^{ドル}、紡織品は 4.8%増の 198.0 億^{ドル}、衣類等二次製品は 12.7%増の 45.2 億^{ドル}といずれの段階も増加した。綿花輸入は 53.1%増の 525 万^{トン}（金額ベースでは綿花価格の下落もあり 25.1%増）と急増した。

合繊輸入は軒並み前年実績割れとなった。ナイロン F は 2.9%減の 17.4 万^{トン}、ポリエステル F は 22.3%減の 12.6 万^{トン}、同 S は 6.5%減の 11.2 万^{トン}、アクリル S は 4.5%減の 18.7 万^{トン}となった。合繊原料輸入は、EG は 9.2%増、CPL は 11.7%増となったが、国内で新增設の動きが活発であった PTA は 17.8%の大幅減となった。

繊維品輸入実績

(100 万^{ドル}、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
繊維原料	7,095	5,590	10,370	15,793	17,650	11.8
紡織品	16,228	14,945	17,681	18,901	19,804	4.8
衣類	2,279	1,842	2,518	4,013	4,523	12.7
繊維品計	25,603	22,384	30,549	38,707	41,977	8.4

主要化合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

(1000 トン、%)

	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
ナイロン F	196	197	198	179	174	-2.9
ポリエステル F	181	174	173	162	126	-22.3
ポリエステル S	145	151	143	120	112	-6.5
アクリル S	146	180	196	195	187	-4.5
EG	5,216	5,828	6,640	7,269	7,940	9.2
PTA	5,942	6,257	6,642	6,526	5,365	-17.8
CPL	450	601	631	633	707	11.7

主要化合繊ファイバーの日韓台からの輸入実績

(1000 トン)

	日本	韓国	台湾	その他	合計
ナイロン F	5	20	88	60	174
ポリエステル F	6	22	66	31	126
ポリエステル S	8	51	26	26	112
アクリル S	76	16	30	65	187

10) 米 国

・概 況

2012年の米国の繊維景況は、消費が緩やかな回復傾向にあることから底堅さも見られるものの、品種によりまだら模様となった。合繊生産はナイロンが不振となった一方、ポリエステル好調により全体で5.1%増の275.3万ト。繊維産業の生産指数は、紡織工業が前年比3.6%の上昇と好調が継続したのに対し、紡織製品はカーペットの不振続行で1.8%低下。繊維製品輸入は前年比0.4%減の1,009億ドルと3年ぶりに前年割れとなった。中国からの輸入は横ばい(0.2%減)の405.8億ドルで、リーマンショックの影響を受けた2009年以来3年ぶりに前年を下回った。

・合繊生産

合繊生産は前年比5.1%増の275.3万トであった。主要品種別にみると、ナイロンFは全体で5.1%減の53.1万ト。主力のカーペット用はポリエステルへの代替が進行していることから、6.1%減の43.1万トと減少したほか、産資用も3.6%減の7.0万トと減少した。紡織用は6.8%増の3.0万トと回復した。ポリエステルFは、住宅着工件数が低水準ながら堅調に増加しており、主力のカーペット用が23.2%増の28.2万トと好調が継続し、全体では9.6%増の56.4万トであった。ポリエステルSは10.2%増の63.9万ト。国内向け出荷は詰め綿向け(24.6%増)、紡績向け(9.9%増)、不織布向け(7.1%増)、カーペット向け(7.4%増)のいずれも増加した。オレフィンFは7.2%増の84.0万ト。国内向け出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが前年比8.1%増、マルチフィラメントは0.6%増であった。オレフィンSは1.2%減の18.0万トと減少が続いている。

主要品種別合繊生産

(1000ト、%)

	2011	2012	前年比(%)
ナイロンF	559.3	530.5	-5.1
産資用	72.2	69.6	-3.6
カーペット用	459.0	430.9	-6.1
紡織用	28.1	30.0	6.8
ポリエステルF	514.4	563.8	9.6
産資用	118.1	111.5	-5.6
カーペット用	228.7	281.8	23.2
紡織用	167.6	170.5	1.7
ポリエステルS	579.8	638.7	10.2
オレフィンF	783.6	840.0	7.2
オレフィンS	182.1	179.9	-1.2
合繊計	2,619.1	2,752.9	5.1

(出所) FEB

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、リーマンショックによる落ち込みから回復を続け、生産指数は前年比 3.6%の上昇となった。生地が 6.3%、染色加工が 2.9%とそれぞれ上昇し、前年に引き続き好調となっている。

一方、紡織製品は、主力のカーペットで低迷が続き、インテリア用途以外も前年より低下したことから、生産指数は 1.8%の下落となった。衣料も前年比 3.1%の下落と低下傾向を続けている。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2007=100、%)

業種	2008	2009	2010	2011	2012	前年比
鉱工業	96.5	85.4	90.1	93.7	97.2	3.7
紡織工業	85.1	69.7	76.6	77.9	80.7	3.6
糸・縫糸	85.4	65.3	72.5	68.8
生地	88.2	74.5	80.8	83.2	88.5	6.3
染色加工	77.7	62.9	70.8	73.8	75.9	2.9
紡織製品	91.1	69.7	72.5	72.6	71.3	-1.8
紡織インテリア製品	86.0	63.0	63.7	61.4	60.0	-2.3
カーペット等	87.1	61.6	62.9	59.7	57.5	-3.7
その他紡織製品	99.0	80.4	86.9	91.0	90.0	-1.1
衣料	77.7	55.7	55.6	54.3	52.6	-3.1

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2012年の繊維製品輸入は国内市場の低迷を反映し、前年比 0.4%減の 1,009 億ドルと、史上最高となった前年をわずかに下回り、3年ぶりに前年割れとなった。仕出地別にみると、全体の 4割を占める最大仕出国の中国が 0.2%減と、ほぼ横ばいながらわずかに前年を下回った。中国からの輸入が前年割れとなったのはリーマンショックの影響を受けた 2009年以來 3年ぶり。その他はベトナムが 6.4%増と増加した他は、インド、インドネシアなど主な仕出国はいずれも減少した。衣類輸入は 1.1%減の 768 億ドル。ベトナムが 6.9%増と増加したが、その他は中国が 1.1%減、インドネシアが 2.3%減など、主要国はいずれも減少した、中国の衣料輸入全体に占める割合は 37.8%と、前年から横ばいであった。

繊維製品輸入実績

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2011年	2012年	前年比(%)	仕出地	2011年	2012年	前年比(%)
中国	40,658	40,583	-0.2	中国	29,392	29,060	-1.1
ベトナム	7,196	7,655	6.4	ベトナム	6,644	7,101	6.9
インド	5,934	5,896	-0.6	インドネシア	5,052	4,935	-2.3
インドネシア	5,319	5,197	-2.3	バングラデシュ	4,510	4,470	-0.9
メキシコ	4,762	4,629	-2.8	メキシコ	3,804	3,696	-2.8
世界	101,324	100,932	-0.4	世界	77,659	76,811	-1.1

(出所) 米商務省

11) 欧州

・概況

2012年の欧州の繊維景況は、域内景気の回復の遅れを受け不振が続いている。合繊生産はナイロン、ポリエステルともにフィラメントが前年比2桁の大幅減少。域内紡織工業の生産活動も低調となった。EU27の繊維製品輸入（域外輸入、1～11月期）は内需不振により、前年比5.3%減の874億ユーロと減少した。中国やトルコなど主要国が減少したのに対し、低コスト国のバングラデシュ、ベトナム、カンボジアは増加した。

・合繊生産

合繊生産は、産資用ナイロンFが前年比10.0%減の10.6万ト、ポリエステルFの紡織用が20.5%減の21.8万ト、産資用が14.5%減の12.9万トと、フィラメントがいずれも2桁の大幅減少となった。一方、ポリエステルSは5.2%増の67.9万トと増加、アクリルSは56.7万トで微増（0.7%増）となった。

主要合繊の生産高

(1000ト、%)

	2009	2010	2011	2012	前年比
産資用ナイロンF	92.1	118.5	118.0	106.2	-10.0
紡織用ポリエステルF	231.8	279.0	273.7	217.7	-20.5
産資用ポリエステルF*	97.3	144.6	150.5	128.7	-14.5
ポリエステルS*	503.8	653.3	645.7	679.4	5.2
アクリルS	566.5	564.8	563.1	566.9	0.7

(出所) CIRFS (注) *2010年よりベラルーシを含む

・紡織・衣料生産

EU27の紡織工業の生産活動は低調が継続し、2012年の生産指数は前年比5.9%の低下となった。主要国では、英国は1.8%の低下にとどまったものの、ドイツ、フランス、イタリアは5～10%の低下であった。衣料工業は、EU27の生産指数は6.1%の低下。フランスは0.4%減とほぼ横ばいであったが、ドイツ、イタリアは10%近く生産活動が低下した。

紡織・衣料工業の生産指数の推移

(2010=100、%)

	紡織工業				衣料工業			
	2010	2011	2012	前年比	2010	2011	2012	前年比
EU27	99.9	97.4	91.7	-5.9	100.0	94.6	88.9	-6.1
ドイツ	99.5	99.8	92.7	-7.1	99.7	98.2	89.2	-9.2
フランス	99.9	99.4	94.1	-5.3	99.6	101.4	101.0	-0.4
イタリア	99.9	94.4	85.8	-9.1	100.0	90.0	81.7	-9.2
英国	100.0	93.4	91.7	-1.8	100.1	107.7	104.9	-2.6

(出所) Eurostat

・輸 入

2012年1～11月期のEU27の繊維製品輸入（域外輸入）は、欧州域内の内需不振の影響もあって前年比5.3%減の874億ユーロであった。

仕出地別にみると、主要仕出国の中国が7.5%減の345億ユーロと減少し、同国の域外輸入全体に占める割合は2011年の40.3%から39.5%に低下した。また仕出国第2位のトルコも3.0%減の112億ユーロと減少、同様に近隣国のチュニジア（11.6%減）、モロッコ（7.9%減）も減少したが、バングラデシュは8.4%増の81億ユーロ、ASEANも1.0%増の71億ユーロと増加した。ASEANの中ではインドネシア（6.6%減）やタイ（12.7%減）、マレーシア（2.9%減）は減少したのに対し、低コスト国のベトナム（3.8%増、19億ユーロ）、カンボジア（35.4%増、11億ユーロ）は増加しているのが特徴的である。また2011年7月にEUとのFTAが発効し、繊維品の大部分が即時関税撤廃された韓国は5.3%増の10.0億ユーロと増加した。

EU27の繊維製品輸入（域外輸入）

（100万ユーロ、%）

国・地域	2009	2010	2011	前年比	2011 (1-11月)	2012 (1-11月)	前年 同期比
世界計	79,277	89,773	99,392	10.7	92,309	87,403	-5.3
中国	32,708	37,577	40,100	6.7	37,307	34,521	-7.5
トルコ	10,152	11,467	12,492	8.9	11,532	11,192	-3.0
バングラデシュ	5,401	6,160	7,987	29.7	7,435	8,057	8.4
ASEAN	5,703	6,527	7,617	16.7	7,048	7,119	1.0
ベトナム	1,410	1,627	2,006	23.3	1,851	1,921	3.8
インドネシ	1,471	1,597	1,817	13.8	1,692	1,580	-6.6
カンボジア	550	598	926	54.7	827	1,120	35.4
タイ	1,156	1,320	1,318	-0.1	1,232	1,075	-12.7
マレーシア	707	919	1,039	13.0	970	942	-2.9
インド	6,442	7,019	7,920	12.8	7,414	6,313	-14.8
チュニジア	2,530	2,645	2,739	3.5	2,520	2,228	-11.6
モロッコ	2,131	2,265	2,404	6.1	2,233	2,056	-7.9
米国	1,255	1,498	1,554	3.7	1,445	1,512	4.6
スイス	1,355	1,418	1,487	4.9	1,379	1,330	-3.6
韓国	681	874	1,031	17.9	953	1,003	5.3
エジプト	688	798	928	16.3	861	752	-12.6
日本	526	656	752	14.7	704	684	-2.9

（出所）Eurostat

合織4品種需要実績

(2012年10～12月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2012年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,423	93.3	85.3
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	45,413	97.3	90.3
	計	62,836 (26,625)	96.1 (94.1)	88.8 (89.5)
輸出 (原糸、加工糸)		3,503	94.4	79.4
需要計		66,339	96.0	88.3
在庫		15,143	91.7	88.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2012年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	5,662	109.2	100.7
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	30,823	94.5	90.4
	計	36,485 (7,330)	100.1 (114.1)	95.4 (90.4)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		4,890	80.3	93.2
需要計		41,375	97.3	95.2
在庫		22,279	94.0	95.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2012年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,787	95.7	91.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	15,091	92.9	91.9
	計	23,878 (6,524)	93.9 (97.1)	91.7 (108.6)
輸出 (原糸、加工糸)		5,694	104.6	106.9
需要計		29,572	95.8	94.3
在庫		10,238	101.2	113.7

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2012年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	4,723	97.1	84.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,103	95.8	87.2
	計	6,826 (342)	96.7 (139.0)	85.0 (95.5)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		29,422	105.3	112.3
需要計		36,248	103.6	105.9
在庫		10,895	103.4	103.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量